

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エージーピー

コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 学

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 金子 晋也

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,080	2.9	334	106.3	308	123.9	96	38.0
24年3月期第2四半期	4,938	△6.0	162	△33.5	137	△36.4	70	△24.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 86百万円 (25.1%) 24年3月期第2四半期 69百万円 (△28.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.94	—
24年3月期第2四半期	5.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,289	5,741	50.9
24年3月期	11,583	5,752	49.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,741百万円 24年3月期 5,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,073	△0.2	463	9.2	420	12.0	132	10.4	9.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上見積りの変更・修正再表示「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	13,950,000 株	24年3月期	13,950,000 株
25年3月期2Q	1,857 株	24年3月期	1,857 株
25年3月期2Q	13,948,143 株	24年3月期2Q	13,948,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などにより底堅く推移しているものの、欧州や中国等の対外経済環境を巡る不確実性は高く、景気が下押しされるリスクが存在しております。

一方、航空業界では、航空各社による増便や路線の開設など拡大基調にあるものの、中国との外交関係の悪化とともに予断を許さない状況となっております。また、本年就航した本邦 LCC 3 社は順調に需要を取り込んで存在感を増しており、今後、既存航空会社との競争がさらに激化するものと思われれます。

このような状況下、当四半期の売上高は、動力事業では、航空需要の回復に伴う増便や路線の開設、A380 型機や B787 型機の就航などにより、成田空港をはじめとする国際線で比較的堅調に推移し、26 億 31 百万円と前年同期比 1 億 54 百万円 (6.2%) の増収となりました。整備事業では、前年同期に空港外施設で大型別件工事があった反動、成田空港における空港関連施設の保守管理基本契約ならびに更新・修繕作業の減等により、18 億 36 百万円と前年同期比 1 億 26 百万円 (6.4%) の減収となりました。付帯事業では、フードカート販売の増等により、6 億 13 百万円と前年同期比 1 億 13 百万円 (22.7%) の増収となりました。

以上により、売上高合計は、50 億 80 百万円と前年同期比 1 億 41 百万円 (2.9%) の増収となりました。

営業費用につきましては、動力事業および付帯事業において売上増加に伴い原材料費が増加したものの、動力事業での減価償却費の減少に加え整備事業での原材料費の減少等により、47 億 45 百万円と前年同期比 30 百万円 (0.6%) の減となりました。

この結果、営業利益は 3 億 34 百万円と前年同期比 1 億 72 百万円 (106.3%) の増益、経常利益は 3 億 8 百万円と前年同期比 1 億 70 百万円 (123.9%) の増益となりました。

これに、鹿児島、熊本、長崎各空港出張所閉鎖に伴う特別損失として、設備撤去等にかかわる事業撤退損を 1 億 28 百万円計上したことにより、当四半期純利益は 96 百万円と前年同期比 26 百万円 (38.0%) の増益にとどまりました。

なお、本日、同時に「特別損失計上に関するお知らせ」を開示しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比 84 百万円 (1.6%) 増加の 52 億 65 百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が 1 億 84 百万円減少し、仕掛品が 1 億 9 百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比 3 億 78 百万円 (5.9%) 減少の 60 億 24 百万円となりました。これは、主に有形固定資産が 4 億 40 百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前期末に比べて 2 億 94 百万円 (2.5%) 減少して 112 億 89 百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前期末比 40 百万円 (2.3%) 増加の 18 億 52 百万円となりました。これは、営業未払金が 52 百万円減少し、未払法人税等が 89 百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前期末比 3 億 24 百万円 (8.1%) 減少の 36 億 95 百万円となりました。これは、長期借入金が 3 億 11 百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前期末に比べて 2 億 83 百万円 (4.9%) 減少して 55 億 47 百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前期末に比べて 10 百万円 (0.2%) 減少して 57 億 41 百万円となりました。これは、当四半期純利益および剰余金の配当の加減算ならびにその他有価証券評価差額金により 10 百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績見通しにつきましては、各事業の業績がほぼ想定した範囲内で推移していること、また、鹿児島、熊本、長崎の各空港出張所閉鎖に伴う特別損失も当初見込んだ範囲内であることから、現時点では期初の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第 2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,133,621	2,214,261
受取手形及び売掛金	1,527,996	1,343,106
有価証券	890,779	891,067
商品及び製品	72,624	61,823
仕掛品	14,109	123,568
原材料及び貯蔵品	275,665	309,930
その他	266,586	321,676
流動資産合計	5,181,383	5,265,432
固定資産		
有形固定資産		
構築物	8,655,278	8,515,839
減価償却累計額	6,581,605	6,704,107
構築物（純額）	2,073,673	1,811,732
機械及び装置	7,888,852	7,887,877
減価償却累計額	6,082,265	6,203,789
機械及び装置（純額）	1,806,587	1,684,088
その他	1,932,930	1,935,729
減価償却累計額	1,176,658	1,245,675
その他（純額）	756,272	690,053
土地	110,608	110,608
建設仮勘定	458,032	468,193
有形固定資産合計	5,205,173	4,764,675
無形固定資産		
その他	51,422	43,707
無形固定資産合計	51,422	43,707
投資その他の資産		
その他	1,152,581	1,222,261
貸倒引当金	6,600	6,600
投資その他の資産合計	1,145,981	1,215,661
固定資産合計	6,402,576	6,024,044
資産合計	11,583,960	11,289,477

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	466,378	413,954
未払法人税等	82,053	171,779
資産除去債務	-	29,516
その他	1,263,491	1,237,467
流動負債合計	1,811,923	1,852,717
固定負債		
長期借入金	2,307,700	1,996,175
退職給付引当金	1,457,125	1,494,831
資産除去債務	32,152	32,328
その他	222,659	171,725
固定負債合計	4,019,637	3,695,060
負債合計	5,831,560	5,547,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	3,598,943	3,598,172
自己株式	630	630
株主資本合計	5,751,762	5,750,992
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	636	9,293
その他の包括利益累計額合計	636	9,293
純資産合計	5,752,399	5,741,698
負債純資産合計	11,583,960	11,289,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,938,793	5,080,619
売上原価	4,404,099	4,379,599
売上総利益	534,693	701,019
販売費及び一般管理費	372,409	366,305
営業利益	162,284	334,714
営業外収益		
受取利息	1,830	638
受取配当金	534	769
保険配当金	179	901
保険事務手数料	704	698
その他	2,521	257
営業外収益合計	5,770	3,265
営業外費用		
支払利息	29,612	26,775
その他	480	2,289
営業外費用合計	30,092	29,064
経常利益	137,962	308,915
特別損失		
固定資産除却損	35	4,914
事業撤退損	-	128,018
貸倒引当金繰入額	2,825	-
特別損失合計	2,860	132,933
税金等調整前四半期純利益	135,102	175,981
法人税、住民税及び事業税	67,630	162,660
法人税等調整額	2,744	83,545
法人税等合計	64,886	79,115
少数株主損益調整前四半期純利益	70,215	96,866
四半期純利益	70,215	96,866

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,215	96,866
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	728	9,929
その他の包括利益合計	728	9,929
四半期包括利益	69,486	86,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,486	86,936

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	135,102	175,981
減価償却費	486,148	435,854
退職給付引当金の増減額（は減少）	69,035	57,895
固定資産除却損	35	4,914
事業撤退損失	-	128,018
受取利息及び受取配当金	2,364	1,408
支払利息	29,612	26,775
売上債権の増減額（は増加）	110,236	184,890
たな卸資産の増減額（は増加）	85,797	134,756
仕入債務の増減額（は減少）	28,062	52,423
未収消費税等の増減額（は増加）	62,199	-
未払消費税等の増減額（は減少）	23,496	51,746
その他	62,717	16,479
小計	793,049	790,475
利息及び配当金の受取額	2,364	1,408
利息の支払額	29,936	33,200
法人税等の支払額	89,078	73,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	676,399	684,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	37,900
有形固定資産の取得による支出	176,034	75,723
無形固定資産の取得による支出	-	1,454
敷金及び保証金の差入による支出	1,831	2,819
敷金及び保証金の回収による収入	27,541	7,589
その他	3,628	1,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	153,953	111,776
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	264,514	341,525
リース債務の返済による支出	51,116	52,921
配当金の支払額	125,444	97,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	441,075	492,060
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	81,369	80,927
現金及び現金同等物の期首残高	2,553,825	3,024,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,635,195	3,105,328

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

※ 事業撤退損

事業撤退損128,018千円の内訳は、鹿児島空港、熊本空港、長崎空港の事業場の閉鎖に伴う有形固定資産の減損損失96,426千円、その他閉鎖に伴う費用31,592千円であります。

(減損損失)

第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)において当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

(単位：千円)

用途	種類	場所	その他
処分予定資産	構築物・機械装置	鹿児島空港内 熊本空港内 長崎空港内	旅客搭乗橋懸架式電力供給設備

当社グループは、事業用資産については事業セグメントを基礎としてグルーピングを行っております。

当第2四半期連結会計期間において3空港内の事業場の閉鎖が確定したため、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損損失96,426千円は特別損失「事業撤退損」に含めて表示しております。

減損損失の内訳は、構築物93,409千円、機械装置3,017千円であります。

なお、処分予定資産の回収可能価額は、使用価値により測定しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当該事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	2,476,414	1,962,935	499,443	4,938,793
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	2,470	2,470
計	2,476,414	1,962,935	501,913	4,941,263
セグメント利益	127,834	234,610	111,415	473,861

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	473,861
全社費用(注)	△311,576
四半期連結損益計算書の営業利益	162,284

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	2,631,098	1,836,506	613,014	5,080,619
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	2,388	2,388
計	2,631,098	1,836,506	615,402	5,083,007
セグメント利益	304,505	197,361	140,392	642,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	642,259
全社費用(注)	△307,545
四半期連結損益計算書の営業利益	334,714

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報
第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)において
当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位:千円)

減損損失	報告セグメント			合計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
	96,426	—	—	96,426

4. 報告セグメントごとののれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。